

東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 8月開講講座のご案内です！！

●事例研究 財務諸表の構造とその見方・読み方

—数値からは見えない財務諸表の深読み講座—

【講座コード：2621E003】

企業活動が複雑化された今日にあっては、親会社の個別財務諸表のみでは当該企業の実態を把握することはできません。子会社を含めた「連結財務諸表」の分析が不可欠です。連結財務諸表の開示が義務づけられている上場企業等に限らず、非上場企業そして公企業においても連結財務諸表の作成は経営管理資料としても必要とされます。そこで、本講座では、まず基本財務諸表の基礎知識を整理・確認したうえで、「財務諸表のデータだけでは読めない」深読みを、可能な限りの時間を事例研究に配分してご理解を深めていただきたいと考えております。

第1回 基本財務諸表の見方・読み方

第2回 (1)基本財務諸表の見方・読み方 (2)連結決算の基礎知識 (3)連結財務諸表特有の用語

第3回 (1)「のれん」の意義と取扱い (2)事例研究 (その1)…基礎的な財務分析

第4回 (1)事例研究 (その2)…見えない数値から経営の

実態を読み解く (2)事例研究 (その3)…有価証券報告書から読み解く危険信号

第5回 (1)企業会計基準の基礎知識 (2)中小企業における連結財務諸表の活かし方 (3)非財務情報の今日的意義

(お願い)

電卓とマーカーをご持参ください。復習をお願いします。復習のポイントは、各回の終了時にお知らせします。

講 師：三沢 清 国土館大学等元講師

日 時：8月19日(水)、26日(水)、
9月2日(水)、9日(水)、16日(水)
18:30~20:00 (全5回)

受講料：12,600円

場 所：飯田橋キャンパス(対面)

●非地理学専門家のためのGIS(地理情報システム)による 分布の分析入門

【講座コード：2621F004】

地図の上に点を打って模様を眺めて何か分析した気になっていませんか。地理空間における施設や事象の分布の分析は地理情報システム(GIS)を使った分析の基本です。本講義ではまず「なぜ分布を地図に描くのか」という根源的問いからはじまり、①地区ごとの点のカウント、各点の最寄り圏域の作図(ティーセン分割)、③空白エリアの見つけ方(バッファリング)、④分布の密集回避傾向の判定法(最近隣距離法)、本講義では都心の駅の分布を例に用いますが、本講義で習う一連の手法は駅のような施設の分析に限らず、貝塚の分布やクマ出没地点の分布など、よろず「分布」と呼ばれる様々な対象の分析に応用できるはずです。講義では無料のGISソフトウェアであるQGISを使用して実演を行います。

各回について

1. なぜ分布を地図に描くのか、分布データに対しGISで

できること

2. 最寄り圏域の分析(ティーセン分割)
3. 分布の不在エリア(≡不便なエリア)をあぶり出す(バッファリング)
4. その分布の仕方は特殊か?(集塊型、相互回避型の判定)
5. データの入手法、自分でデータを作って分析するために

講 師：倉田 陽平 東京都立大学 都市環境学部
観光科学科 准教授

日 時：8月19日(水)、26日(水)、
9月2日(水)、9日(水)、16日(水)
18:00~19:30 (全5回)

受講料：12,600円

場 所：オンライン

* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。(特別区協議会事業部)

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp> Tel.03-3288-1050 (平日 9:00~17:30)

●パンフレットを無料送付いたします。